

基礎習得コース

配信期間 2023/04/01 (土) ～2024/03/31 (日)

※2023年1月時点での情報です

コード	テーマ名	講義概要	到達目標	講師	講義時間	テスト	ワークシート	チェック動画	別添	ラダー	4つの力	カテゴリ
AA2301	そのバイタルサインは何を示す？ ～患者の現在を見極め、未来を見通す～	・バイタルサインをとらえるための基礎知識 ・バイタルサインとその活かし方 ①酸素化の構成要素としてのバイタルサイン ・バイタルサインとその活かし方 ②バイタルサイン・ツインズ ・バイタルサインから見極める患者の「現在」 ・バイタルサインから見通せる患者の「未来」	・バイタルサインとは何か、どういった意義があるか説明できる ・バイタルサインをさまざまな方法でとらえ、活かせるようになる ・バイタルサインから患者の現在の状態、および急変時の対応方針を判断できるようになる ・バイタルサインから患者の未来の状態を予測できるようになる	山内 豊明 先生 放送大学大学院 文化科学研究科 教授	約45分	あり	あり	なし	なし	I、II	ケアする力 ニーズをとらえる力	ー
AA2302	褥瘡ケアの「いろは」 ～予防・発見・悪化防止の3ステップ～	・褥瘡はなぜできる、どこにできる？ ・褥瘡を予防するためのポイント ・褥瘡が発生してしまったらどうする？ ・褥瘡と見分けたい皮膚障害	・褥瘡がどうして発生するか、どの部位に好発するかを説明できる ・褥瘡のリスクアセスメントができ、予防や発見、悪化防止の対処方法がわかる ・褥瘡に関する危険因子評価票の見かた、評価のしかたがわかる ・褥瘡と見分ける必要のある皮膚障害がわかる	松岡 美木 先生 埼玉医科大学病院 褥瘡対策管理室 褥瘡管理者/皮膚・排泄ケア特定認定看護師	約45分	あり	あり	なし	なし	I	ケアする力	ー
AA2303	看護師が知っておきたい薬物療法 ～安心・安全と効果的な治療のために～	・与薬プロセスにおける看護職のかかわり ・与薬プロセスのなかで発生しがちなエラーの防止方法 ・正しい与薬を行うための医薬品の基礎知識、情報収集のしかた ・ハイリスク薬を取り扱うときの注意点	・与薬プロセスと実施するうえでの注意点を十分に理解し、エラーの防止につなげることができる ・医薬品についての基礎知識がわかり、情報収集を行うことができる ・とくに注意が必要なハイリスク薬の種類を理解し、管理・取り扱いの方法がわかる	荒井 有美 先生 北里大学病院 医療の質・安全推進室 専従医療安全管理者/保健師/看護師/薬剤師	約45分	あり	あり	なし	なし	I、II	ケアする力	医療安全
AA2304	患者さんの変化を見逃さない！患者さんと心臓の動きから理解する心電図モニタ	・解剖生理と心電図のつながり ・モニタ心電図を学習する目的 ・心電図の読み方 ・アラーム、不整脈対応 ・心電図のモニタリングと12誘導心電図	・解剖学的知識と心電図の関係を理解できる ・心臓の動きをイメージした心電図の読み方が理解できる ・不整脈から心収縮力と患者状態をイメージできる ・根拠に基づいた心電図モニタリングが理解できる ・12誘導心電図の基本が理解できる	佐伯 悦彦 先生 東京医科大学病院 救命救急センターER・プライマリケア 師長/救急看護認定看護師	約45分	あり	あり	なし	なし	I、II	ニーズをとらえる力	ー
AA2305	「わかる」が「できる」になる急変対応 ～新人看護師のあなたにできる第一歩～	・急変ってなんだろう？ ・急変を見逃さない観察のポイント ・急変対応の基本（初期対応） ・急変対応の基本（報告） ・家族対応のヒント	・急変とは何かについて説明できる ・急変を見逃さないための観察のポイントについて説明できる ・急変時の心構えと情報共有のポイントについて説明できる	川原 千香子 先生 昭和大学 医学部 医学教育学講座 准教授	約45分	あり	あり	なし	なし	I	ケアする力 ニーズをとらえる力	ー
AA2306	明日からのケアも怖くない！人工呼吸器ベーシック	・呼吸とは ・酸素を決める要素・二酸化炭素を決める要素 人工呼吸器どんな時に使う？ ・人工呼吸器は何をしている？どんな合併症が起こる？ ・人工呼吸器の基本設定とモード	・呼吸のしくみについて説明できる ・人工呼吸器を使用する目的について説明できる ・人工呼吸器の基本設定とモードについて知り、どのような疾患のときに使用されるか説明できる	長尾 大志 先生 島根大学医学部附属病院 准教授、病院医学教育センター センター長、呼吸器・化学療法内科	約45分	あり	あり	なし	なし	I、II	ケアする力 ニーズをとらえる力	ー
AA2307	「口から食べたい」を叶える看護師の口腔ケア・摂食嚥下支援	・「口から食べたい」がなぜ重要か ・口腔機能を守る口腔健康管理 ・摂食嚥下のメカニズム ・効果的な食事介助のポイント ・口腔ケア・摂食嚥下支援で看護師が果たす役割	・なぜ経口摂取が重要か説明できる ・口腔機能の維持における口腔健康管理の重要性を理解し、患者に説明できる ・接触嚥下のメカニズムについて説明できる ・食事介助のポイントを知り、実践できる	三鬼 達人 先生 藤田医科大学 ばんだね病院 看護部長室 看護科長/摂食・嚥下障害看護認定看護師	約45分	あり	あり	なし	なし	I、II	ケアする力 ニーズをとらえる力	ー
AA2308	これであなたも皮下注・筋注マスター！ ～オロオロから卒業しよう～	・医療安全の考え方 ・皮内・皮下注射の注射法 ・筋肉内注射の注射法 ・注射時に起こる合併症	・医療安全、6Rの考え方を理解する ・皮内・皮下注射、筋肉内注射の注射法がわかり、実践できる ・注射時に起こる合併症の要因（解剖学的・生理学的・薬理学的）がわかる	藤田 浩 先生 東京都立墨東病院 輸血科 部長	約45分	あり	あり	なし	なし	I、II	ケアする力	IVナース
AA2309	これであなたも静注・静脈留置針マスター！ ～ヒヤヒヤしなくても大丈夫～	・静脈注射の注射法 ・静脈留置針の手法 ・静脈注射時に起こる合併症、事故 ・穿刺困難な場合の対応	・静脈注射の注射法、静脈留置針の手法がわかり、実践できる ・静脈注射時に起こる合併症の要因（解剖学的・生理学的・薬理学的）がわかる ・静脈注射時に起こる事故について知り、実践時に注意することができる	藤田 浩 先生 東京都立墨東病院 輸血科 部長	約45分	あり	あり	なし	なし	I、II	ケアする力	IVナース
AA2310	患者の安全・安心・安楽を守る採血のコツ ～正しい手技で正確な検査結果につなげよう～	・採血で何がわかる？採血管の種類と用途 ・採血の手順とコツ ①採血前の準備 ・採血の手順とコツ ②採血の実施 ・採血の手順とコツ ③採血後の処理 ・こんなときどうする？採血時に合併症が起きたら	・採血により得られる情報について説明できる ・採血管の種類と用途を知り、正しく使用できる ・適切で安全な採血の手順を知り、実践できる ・採血の合併症とその対処法について説明できる	三浦 ひとみ 先生 東京女子医科大学病院 中央検査部 技師長	約45分	あり	あり	あり	なし	I	ケアする力	IVナース
AA2311	患者が見える、ケアが伝わる看護記録	・なぜ「看護記録」を書くのか ・看護記録記載の基本とポイント ・SOAP形式による看護記録 ・事例：こんな看護記録を書いていますか？	・看護記録の目的について説明できる ・看護記録記載の基本とポイントをふまえて、看護記録が適切であるか判断できる ・SOAP形式で看護記録を適切に記載できる	畠山 有希 先生 聖路加国際病院 看護部	約45分	あり	あり	なし	なし	I	協働する力	

コード	テーマ名	講義概要	到達目標	講師	講義時間	テスト	ワークシート	チェック動画	別添	ラダー	4つの力	カテゴリ
AA2312	未来の「わたし」をイメージしよう ～"先輩ナース"には何が必要？～	・看護師はなぜ学び続けなければならないのか ・看護師のキャリアラダー ・看護師のキャリアデザイン ・未来へ向けて目標を立てよう	・看護師が学ぶ意味、意義を理解する ・看護師のキャリアラダーについて理解する ・看護師のキャリアデザインについて理解し、自分の進みたい道を思い描くことができる ・1年後、5年後、10年後の目標を立て、そこまでに必要なタスクをあげることができる	塩田 美佐代 先生 学校法人 湘南ふれあい学園 湘南医療大学 保健医療学部 看護学科 准教授	約45分	あり	あり	なし	なし	I	協働する力	キャリア開発
AA2313	みんな一度は新人ナース ～先輩のエピソードから学んで明日の看護に活かそう～	・忘れられない新人時代のエピソード紹介 ・そのエピソードから何を学んだか	・先輩の新人時代のエピソードとそこからの学びをとおして、自分の看護を振り返ることができる ・明日からがんばりたいことを1つあげることができる	熊谷 雅美 先生 社会福祉法人 恩賜財団済生会支部 済生会横浜市東部病院 特任院長補佐	約15分	なし	なし	なし	なし	I	－	－
AA2351	フィジカルアセスメントの戦術 ～どう着目し、どう進めるか～	・フィジカルアセスメントでの着眼点 ・臨床判断における優先度の考え方 ・臨床推論のパターン ・臨床推論の進め方別のポイント	・アセスメントを進める際の着眼点を説明できる ・臨床判断における優先度を説明できる ・臨床推論のモデルを説明できる ・臨床推論を進める際のポイントを説明できる	山内 豊明 先生 放送大学大学院 文化科学研究科 教授	約44分	あり	あり	なし	なし	I	ニーズをとらえる力	－
AA2352	安全で安楽な排痰・吸引技術をモノにする	・吸引の手技とコツ ①日常業務でよくある場面 ・吸引の手技とコツ ②吸引の前に確認すること ・吸引の手技とコツ ③動画で確認しよう-1 ・吸引の手技とコツ ③動画で確認しよう-2 ・排痰を促す方法 ・体位ドレナージ	・吸引時にどのようなリスクがあるのかを理解し、実践できる ・排痰に適した体位を理解し、患者の安楽に配慮できる ・どのような状態の患者が吸引の適応になるかを理解し、自身で対応できない患者について医師や先輩看護師に報告・連絡・相談ができる	塚原 大輔 先生 一般社団法人 集中ケア認定看護師会 クリティカルケア認定看護師/特定看護師	約43分	あり	あり	あり	なし	I、II	ケアする力	－
AA2353	輸液ポンプ・シリンジポンプのアラームを鳴らさないための基本テクニック	・輸液ポンプ・シリンジポンプの基本 ・輸液ポンプ・シリンジポンプの安全な取り扱い方法 ・輸液ポンプ・シリンジポンプのヒヤリハット事例 ・輸液ポンプ・シリンジポンプのアラームの意味とその対応	・輸液ポンプ・シリンジポンプの操作と管理の基本が理解できる ・輸液ポンプ・シリンジポンプの安全な取り扱いを実践できる ・輸液ポンプ・シリンジポンプで起こり得るインシデントを理解し、その予防ができる ・輸液ポンプ・シリンジポンプのアラームの意味を理解し、それに応じた対応がとれる	小林 剛志 先生 平塚共済病院 臨床工学科 技士長、公益社団法人 神奈川県臨床工学科技士会 会長	約43分	あり	あり	なし	なし	I、II	ケアする力	医療安全 IVナース
AA2354	安全な尿道留置カテーテルの挿入と感染管理	・尿道留置カテーテルの基礎知識 ・カテーテル関連尿路感染（CAUTI）の原因と予防 ・カテーテル挿入手技の実際 ・カテーテル留置中の管理のポイント	・尿道留置カテーテルの役割と構造を理解する ・カテーテル関連尿路感染の機序を理解し、感染予防策を実施できる ・清潔操作をふまえた安全なカテーテル挿入操作が行える ・カテーテル留置患者の適切な管理ができる	石川 美菜子 先生 JA三重厚生連 三重北医療センター いなべ総合病院 感染管理認定看護師	約43分	あり	あり	なし	なし	I、II	ケアする力	感染対策
AA2355	患者の希望を叶え、家族を支えるエンド・オブ・ライフケア	・がん性疼痛 ・睡眠と環境 ・家族ケア ・コミュニケーション ・グリーフケア	・看取り期の疼痛緩和のケアがわかる ・看取り期の睡眠と療養環境の整え方がわかる ・終末期から臨死期の家族ケアの視点がわかる ・終末期から臨死期のコミュニケーションがわかる ・終末期から臨死期のグリーフケアの視点がわかる	林 るり子 先生 横浜市立大学 医学部 看護学科 がん看護学/がん看護専門看護師	約36分	あり	あり	なし	なし	I、II	意思決定を支える力	がん看護
AA2356	転倒・転落予防のためのアセスメントを知ろう	・転倒・転落発生のメカニズム ・転倒・転落予防の重要性 ・転倒・転落リスクを見極めるためのアセスメント ・転倒・転落の要因に対する対策の考え方 ・実例でみる転倒・転落予防対策 ・チームで取り組む転倒・転落予防	・転倒・転落がなぜ発生するか、好発要因を含めて理解できる ・転倒・転落のリスクが高い患者の状態について理解できる ・転倒・転落リスクを見極めるためのアセスメントのポイントがおさえられる ・転倒・転落の要因に対する対策の考え方を理解できる	黒川 美知代 先生 武蔵野赤十字病院 看護部 看護師長	約46分	あり	あり	なし	なし	I、II	ケアする力	医療安全
AA2357	輸血の基礎知識と安全のためのコミュニケーション	・輸血の基礎知識～歴史から血液製剤の種類まで～ ・輸血前の準備 ・輸血前後に観察するポイント ・輸血関連有害事象の現状と対策 ・輸血チーム医療の重要性とコミュニケーションのポイント	・輸血の準備、手順が理解できる ・輸血実施時の観察のポイントを述べられる ・主な輸血関連有害事象を理解し、その対応ができる ・輸血におけるチーム医療の重要性が理解できる ・輸血チーム医療でのコミュニケーションを円滑に行うための方法をあげられる	牧野 茂義 先生 虎の門病院 輸血部長、日本輸血・細胞治療学会 認定医・理事	約47分	あり	あり	なし	なし	I、II	ケアする力 協働する力	医療安全 IVナース 多職種連携
AA2358	患者の痛みを知り、疼痛ケアに活かす	・「痛みを緩和する」とは ・さまざまな痛みの種類 ・痛みをアセスメントする方法 ・薬物療法による疼痛緩和 ・非薬物療法による疼痛緩和とコミュニケーションのコツ ・疼痛緩和における看護師の役割	・疼痛の原因や種類と患者への影響を理解できる ・疼痛をアセスメントするための方法やツールを理解できる ・疼痛緩和のための薬物療法と非薬物療法について説明できる ・医療用麻薬を使用している患者への対応について理解できる ・疼痛緩和において自らに求められる役割を理解できる	廣橋 猛 先生 永寿総合病院 がん診療支援・緩和ケアセンター長	約43分	あり	あり	なし	なし	I、II	ケアする力	IVナース がん看護
AA2359	ナースコールにも慌てない！チームで多重課題に立ち向かえ	・多重課題とはどのような状態か ・多重課題の種類 ・あなたがとりやすい多重課題への対応 ・多重課題発生時の対応と優先順位を考えるためのアセスメント ①多重課題にならないための方法 ②予測できない多重課題に対する対応方法 ・チームで多重課題に対応するためのコミュニケーション	・多重課題の状況について具体的にイメージできる ・予測可能な多重課題、予測不可能な多重課題についてそれぞれの対応方法を述べられる ・多重課題発生時の優先順位の選択について選択基準や理由が説明できる ・多重課題発生時のコミュニケーションと日ごろの関係性づくりの重要性を理解できる	安彦 一也 先生/矢島 由貴 先生 日本赤十字社 諏訪赤十字病院 看護部	約38分	あり	あり	なし	なし	I	協働する力	医療安全

コード	テーマ名	講義概要	到達目標	講師	講義時間	テスト	ワークシート	チェック動画	別添	ラダー	4つの力	カテゴリ
AA2360	みえないニーズをとらえよう ～精神的・社会的・スピリチュアルニーズのとらえ方～	・看護ケアにおけるニーズとは ・精神的ニーズの情報収集 ・社会的ニーズの情報収集 ・スピリチュアルニーズの情報収集 ・ニーズに応じた緊急度のアセスメント	・ケアの受け手や場のニーズについて理解できる ・精神的ニーズ、社会的ニーズ、スピリチュアルニーズにはそれぞれどのようなものがあるか理解できる ・緊急度のアセスメントの方法を理解し、事例をととして実践できる	渡邊 眞理 先生 学校法人 湘南ふれあい学園 湘南医療大学 保健医療学部 看護学科 教授	約40分	あり	あり	なし	なし	I	協働する力	－
AA2361	新人看護師のあなたが身につけたい協働する力『コミュニケーション力』	・看護という職業その仕事ができる人になる ・協働する力を育てる・コミュニケーション力 ・SBARで実際に報告してみよう ・協働する力を育てる・振り返る力（経験を学びに変える力）	・看護という職業、その仕事ができるために必要な力について理解できる ・チームで仕事をするために必要な協働する力について理解できる ・協働する力を育成するためにコミュニケーション力について理解できる ・コミュニケーション力を生かした申し送りを実践できる ・成人学習者として経験を学びに変える学習ができる	熊谷 雅美 先生 社会福祉法人 恩賜財団済生会支部 済生会横浜市東部病院 特任院長補佐	約35分	あり	あり	なし	なし	I	協働する力	多職種連携
AA2362	事例で学ぶ！ やさしい看護過程	・看護過程とは何か ・臨床現場で活用する看護過程 ・看護過程と標準看護計画の活用 ・標準看護計画を活用した個別的な看護の展開 ・質の高い看護を導く看護過程	・看護過程の概念と活用の意義について理解し、明日から業務に反映できることを1つ述べるができる ・標準看護計画を活用した個別的な看護過程とそのプロセスを説明できる ・事例をもとに看護過程を活用した看護展開方法が説明できる ・事例を参考に自分がいま受け持つ患者の看護展開方法について、先輩と問題点を話し合うことができる	宮本 千津子 先生 東京医療保健大学 千葉看護学部 学部長	約41分	あり	あり	なし	なし	I、II	ニーズをとらえる力	－
AA2363-1	ある新人看護師の完璧なる1日 ～日勤・夜勤編～	・ある新人看護師の完璧なる1日～日勤編～ ・ある新人看護師の完璧なる1日～夜勤編～	・日勤勤務時間の大きなタイムラインを理解し、実際の勤務をイメージできる ・夜勤勤務時間の大きなタイムラインを理解し、実際の勤務をイメージできる ・日勤・夜勤に向けた過ごし方をイメージできる	看護師のかげさん	約11分	なし	なし	なし	なし	I	－	－
AA2363-2	ある新人看護師の完璧なる1日 ～タイムラインのつくり方編～	・情報収集 ・タイムラインのつくり方 ・申し送り ・報連相（ホウレンソウ）とは	・タイムラインのつくり方を理解し、実際の勤務をイメージできる ・情報収集や申し送りについて理解し、実際の勤務をイメージできる ・報連相（ホウレンソウ）が理解でき、実際の業務のなかで活用できる	看護師のかげさん	約8分	なし	なし	なし	なし	I	－	－
AA2364	3日坊主にならない入職後の学習方法	・看護師にはなぜ継続学習が必要なのか ・岩本おすすめの勉強方法	・看護師に継続学習が必要な理由がわかる ・明日から取り組む勉強方法が1つ言える	岩本 実加 先生 社会医療法人財団 仁医会 牧田総合病院 看護副部長	約13分	なし	なし	なし	なし	I	－	－
AA2365	あなたのコミュニケーションの特徴を知ろう ～リアリティショックを和らげるためのヒント～	・リアリティショックとは ・自分を育てるために意識したいこと	・自身の特徴を知り、長所と短所を具体的に述べるができる ・自分の長所を伸ばし、短所を改善するための具体策を1つ宣言できる	内藤 知佐子 先生 愛媛大学医学部附属病院 総合臨床研修センター	約18分	なし	なし	なし	なし	I	協働する力	－

認知症・高齢者コース

配信期間 2023/04/01（土）～2024/03/31（日）

※2023年1月時点での情報です

コード	テーマ名	講義概要	到達目標	講師	講義時間	テスト	ワークシート	チェック動画	別添	ラダー	4つの力	カテゴリ
BD2301	<看護編1>現場で役立つ！認知症のアセスメントとケア	・認知症の原因疾患・病態 ・行動・心理症状（BPSD）を防ぐためのアセスメント～認知機能障害・心身機能・心身状態～ ・病棟生活での不穏・ADL低下を防ぐケア	・行動・心理症状（BPSD）を防ぐための認知機能障害をアセスメントできる ・行動・心理症状（BPSD）を防ぐための心身状態をアセスメントできる ・病棟生活での不穏・ADL低下を防ぐケアが理解できる	植田 恵 先生 帝京平成大学 健康メディカル学部 言語聴覚学科 教授	約30分	あり	あり	なし	なし	全職員対象	ケアする力	－
BD2302	<看護編1 事例動画>現場で役立つ！認知症のアセスメントとケア	・病棟生活での不穏を防ぐアセスメントと看護ケアの工夫 ・病棟生活でのADL低下を防ぐアセスメントと看護ケアの工夫 ・多職種でのアセスメント・ケアの工夫	・食事に関するアセスメントとケアが提供できる（食事が安定しない・食事を拒否する場合など） ・排泄に関するアセスメントとケアが提供できる（おむつ交換を拒否する・病室で放尿する・おむつをはずしてしまう場合など） ・夕方から夜間時のアセスメントとケアが提供できる（夕方の不穏・夜間の不穏など） ・睡眠のアセスメントとケアが提供できる（断眠・昼夜逆転など）	原 等子 先生 新潟県立看護大学 看護学部 老年看護学 准教授	約30分	あり	あり	なし	なし	全職員対象	ケアする力	－
BD2303	<看護編2>現場で役立つ！認知症の方へのコミュニケーション・環境調整	・認知機能障害に応じたコミュニケーション・環境 ・認知症のタイプに応じたコミュニケーション・環境	・認知症のタイプを理解し、コミュニケーション・環境の工夫ができる ・行動・心理症状（BPSD）を理解し、コミュニケーション・環境の工夫ができる	植田 恵 先生 帝京平成大学 健康メディカル学部 言語聴覚学科 教授	約30分	あり	あり	なし	なし	全職員対象	ニーズをとらえる力	－
BD2304	<看護編2 事例動画>現場で役立つ！認知症の方へのコミュニケーション・環境調整	・認知機能障害に応じたコミュニケーション・環境の工夫 ・認知症のタイプに応じたコミュニケーション・環境の工夫 ・チームでの認知症ケアの実践	・認知機能障害に応じたコミュニケーション・環境調整ができる（何度もここがどこか尋ねる・何度同じことを尋ねる/ナースコールを押せない/ベッドから降りようとする/点滴を抜いてしまう/胃管を抜いてしまう/服薬の拒否/帰宅願望） ・認知症のタイプに応じたコミュニケーションや環境調整ができる（虫や人が見える/怒りっぽい/自発性の低下）	原 等子 先生 新潟県立看護大学 看護学部 老年看護学 准教授	約30分	あり	あり	なし	なし	全職員対象	ニーズをとらえる力	－
BD2305	二次性骨折の予防のために！ ～骨粗鬆症のケアとFLS～	・骨粗鬆症による二次性骨折とは ・FLS（骨折リエンジニアリング）と看護師の役割 ・骨粗鬆症と二次性骨折予防のために看護師ができること ・超高齢社会における二次性骨折予防の重要性	・骨粗鬆症による二次性骨折についての基礎知識を習得する ・FLSと看護師の役割について説明できる ・骨粗鬆症と二次性骨折予防のための看護師の役割が理解できる ・超高齢社会における二次性骨折予防の重要性がわかる	平岡 峰子 先生 徳島文理大学 保健福祉学部 看護学科	約30分	あり	あり	なし	なし	全職員対象	ケアする力	－
BD2306	安全・安楽・自立・QOLを意図した食事介助技術	・観察のポイント ・安全・安楽な食事介助とは ・自立・QOLを意図した食事介助とは	・誤嚥・窒息を予防する安定した姿勢がわかる ・食形態の調整・摂食用具の活用・環境調整の意義がわかる ・食べる意欲・嗜好品、認知機能向上について考えられる	小山 珠美 先生 伊勢原協同病院 看護師/NPO法人口から食べる幸せを守る会 理事長	約30分	あり	あり	なし	なし	全職員対象	ケアする力	－
BD2307	症状変化を見逃さない！脳神経看護の基本をおさえる	・頭蓋内の基本構造 ・頭蓋内における恒常性維持機能 ・脳卒中の機序の基本 ・脳卒中における症状変化のアセスメント	・頭蓋内の基本構造が理解できる ・頭蓋内における恒常性維持機能が理解できる ・脳卒中の機序の基本が理解できる ・病態や症状をアセスメントし、異常初見（所見）・急変に気づける	久松 正樹 先生 社会医療法人 医仁会 中村記念南病院 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師	約30分	あり	あり	なし	なし	全職員対象	ニーズをとらえる力、ケアする力	－
BD2308	高齢者の運動機能回復とリスク管理	・高齢者の運動機能を回復する支援とその効果 ・運動機能回復支援時のリスク管理と支援のポイント ・運動機能回復支援～看護師としてすべきこと～	・高齢者の運動機能回復について効果とリスクがわかる ・基本的なリスク管理と適切な支援方法がわかる	平岡 峰子 先生 徳島文理大学 保健福祉学部 看護学科	約30分	あり	あり	なし	なし	全職員対象	ケアする力	－
BD2351	<医学編1>認知症にみる原因疾患とその症状・治療法	・認知症の主な原因疾患 －アルツハイマー型認知症 －脳血管性認知症 －レビー小体型認知症 ・認知症の症状 ・ケアに役立つポイント ・認知症の治療法 －薬物療法 －非薬物療法	・認知症の原因疾患とその症状が理解できる ・認知症の治療法について知ることができる	中野 輝基 先生 医療法人社団 悠翔会 精神科	約22分	あり	あり	なし	なし	全職員対象	ケアする力	－
BD2352	<医学編2>事例から学ぶ認知症とせん妄	・認知症の基礎知識 ・行動・心理症状（BPSD）とせん妄 ・事例からひも解く予防とそのケアに役立つポイント －行動・心理症状（BPSD） －せん妄	・認知症の症状（臨床像）が理解できる ・BPSD・せん妄の予防とそのケアに役立つポイントが理解できる	中野 輝基 先生 医療法人社団 悠翔会 精神科	約24分	あり	あり	なし	なし	全職員対象	ケアする力	－

コード	テーマ名	講義概要	到達目標	講師	講義時間	テスト	ワークシート	チェック動画	別添	ラダー	4つの力	カテゴリ
BD2353	<事故防止編>認知症のケアにおける医療安全	・認知症患者のリスクアセスメント ・事例1：転倒予防 ・事例2：BPSDを患者からのメッセージととらえた看護	・認知症患者の視点から起こりやすい医療事故のリスクがわかる ・認知症患者の視点から起こりやすい事故を予測し、ケアのポイントのアセスメントできる ・看護師自らも環境の一部であると認識することができる	茅野 理香 先生 順天堂大学医学部附属 順天堂東京江東高齢者医療センター 医療安全管理室 医療安全管理者	約32分	あり	あり	なし	なし	全職員対象	ケアする力	医療安全
BD2354	<倫理編>認知症患者の日常ケアで生じる倫理的課題	・看護倫理とは ・ケア提供者が陥りやすい認知症患者に対する思い込み ・倫理原則 ・認知症患者の日常ケアで生じる倫理的課題～事例を通じて考える～ ・認知症患者の尊厳を守るための多職種連携	・認知症患者の日常ケアで生じる倫理的課題に気づくことができる ・何が倫理的問題かを理解し、認知症患者の日常ケアに活かすことができる	渡邊 啓子 先生 順天堂大学医学部附属 順天堂東京江東高齢者医療センター 看護部/認定看護管理者	約27分	あり	あり	なし	なし	全職員対象	意思決定を支える力	ー
BD2355	高齢者をサルコペニア・フレイルにさせないために～看護師が行う栄養看護～	・サルコペニアとフレイルを学ぶ ・看護師が栄養と活動のバランスを整える（栄養看護） ・栄養ケアプロセスと看護過程	・サルコペニアとフレイルがわかる ・看護師の介入でサルコペニアやフレイルを予防できることがわかる ・栄養看護に必要な栄養の基礎知識がわかる	森 みさ子 先生 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 急性・重症患者看護専門看護師/臨床栄養代謝専門療法士	約27分	あり	あり	なし	なし	全職員対象	ニーズをとらえる力、ケアする力	ー
BD2356	消化器疾患をもつ高齢者のためのケア	・高齢者の消化・吸収の特徴と注意すべきポイント ・日常のケアと栄養面でのサポート ・多職種との連携	・高齢者の消化・吸収の特徴と注意すべきポイントがわかる ・高齢の消化器疾患患者のケアについて、日常のケアと栄養面でのサポートがわかる	森 みさ子 先生 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 急性・重症患者看護専門看護師/臨床栄養代謝専門療法士	約28分	あり	あり	なし	なし	全職員対象	ニーズをとらえる力、ケアする力	ー
BD2357	患者に寄り添うCKD支援～治療を取り入れた生活への変更・継続の支援～	・高齢者のCKDの特徴と注意すべきポイント ・腎機能低下による心理・社会的影響 ・CKD患者の支援（生活指導、服薬管理）	・高齢者のCKDの特徴と注意すべきポイントがわかる ・CKDの治療とセルフケアを生活に組み込み、継続していくためのポイントがわかる	柏崎 純子 先生 共立女子大学 看護学部 看護学科 成人看護学 准教授	約26分	あり	あり	なし	なし	全職員対象	ニーズをとらえる力、ケアする力	ー
BD2358	高齢者の糖尿病のセルフケアを支える	・高齢者の糖尿病の特徴 ・高齢者の糖尿病のセルフケア支援のポイント-1 ・高齢者の糖尿病のセルフケア支援のポイント-2 -食事療法・運動療法・薬物療法・低血糖への対応	・高齢者の糖尿病の特徴がわかる ・糖尿病の高齢者のセルフケア支援のポイントがわかる	柏崎 純子 先生 共立女子大学 看護学部 看護学科 成人看護学 准教授	約26分	あり	あり	なし	なし	全職員対象	ニーズをとらえる力、ケアする力	ー

多職種連携コース

配信期間 2023/04/01（土）～2024/03/31（日）

※2023年1月時点での情報です

コード	テーマ名	講義概要	到達目標	講師	講義時間	テスト	ワークシート	チェック動画	別添	ラダー	4つの力	カテゴリ
FA2301	チーム医療の極意 ～専門職がもちたいリーダーシップの考え方～	・プロフェッショナルとしての心構え ・チーム医療が求められる理由 ・複雑困難な課題に取り組むための戦略的マインドセット	・専門職としての気構えを見直す ・チーム医療の重要性について理解する ・問題解決について体系的に理解する ・リーダーシップについて理解する ・今日から実践できることを考え、行動に移す	山崎 康太郎 先生 医療法人社団 健育会 竹川病院 リハビリテーションセンター長	約30分	あり	あり	なし	なし	全職員対象	協働する力	多職種連携
FA2302	チームの叡智を集結！ これからのNSTに求められる役割	・栄養管理を取り巻く状況 ・栄養サポートチームにおける職種ごとの役割 ・事例から学ぶチームで行う栄養管理	・現在の医療状況、および診療報酬上の扱いの変遷から、栄養サポートに求められる役割を理解できる ・栄養サポートチームにおいて、各職種に期待される役割について説明できる ・自施設における栄養サポートチーム運営についてチームでビジョンを共有できる	矢吹 浩子 先生 医療法人社団蘇生会 蘇生会総合病院 看護部長	約30分	あり	あり	なし	なし	I、II、III、IV、V	協働する力	多職種連携
FA2303	チーム力を底上げる！ 薬剤師との連携	・チーム医療における薬剤師の役割 ・チーム医療において薬剤師が看護師に期待すること	・チーム医療における薬剤師の役割について説明できる ・自らの業務における薬剤師との連携について明日から実践できることを1つあげられる	百瀬 智恵 先生 社会医療法人財団 仁会 牧田総合病院	約15分	なし	なし	なし	なし	I、II、III	協働する力	多職種連携
FA2304	患者の生きる力を支える！ 管理栄養士との連携	・チーム医療における管理栄養士の役割 ・チーム医療において管理栄養士が看護師に期待すること	・チーム医療における管理栄養士の役割について説明できる ・自らの業務における管理栄養士との連携について明日から実践できることを1つあげられる	大島 真理子 先生 地方独立行政法人 東京都立病院機構 東京都立多摩北部医療センター 栄養科 科長/管理栄養士	約15分	なし	なし	なし	なし	I、II、III	協働する力	多職種連携
FA2305	地域の健康を守る！ 保健師との連携	・高齢化の現状 ・地域包括ケアシステムにおける保健師の役割 ・医療は何を求められているのか～保健師が看護師に期待すること～ ・多職種連携とは～保健師との連携～	・多職種連携における保健師の役割について説明できる ・自らの業務における保健師との連携について明日から実践できることを1つあげられる	堀間 華世 先生 保健師	約15分	なし	なし	なし	なし	I、II、III	協働する力	多職種連携
FA2351	もう一度振り返ろう！ チーム医療の基本	・チーム医療はなぜ必要なのか ・チーム医療における患者と医療者の関係性 ・チーム医療を円滑に行うためのコミュニケーション	・チーム医療がなぜ必要なのか理解できる ・患者を中心としたチーム医療の構築をめざすことができる ・チーム医療におけるコミュニケーションの重要性を理解し、実践できる	辰巳 陽一 先生 近畿大学病院 安全管理部・医療安全対策室、近畿大学医学部 血液・膠原病内科 教授	約29分	あり	あり	なし	なし	全職員対象	協働する力	多職種連携
FA2352	外国人スタッフとともに築くチーム医療	・医療現場・介護現場における外国人スタッフ受け入れの実態 ・文化的背景の異なるスタッフを理解するためのポイント ・外国人スタッフをチームに巻き込むためのコミュニケーション	・日本の医療・介護における外国人スタッフの活躍について理解できる ・外国人スタッフがもつさまざまな文化的背景を知り、尊重することができる ・自施設の特徴に応じた、外国人スタッフを巻き込んだチームづくりの方法を考えられる	小澤 美紀 先生 医療法人社団 三喜会 鶴巻温泉病院 看護部長	約27分	あり	あり	なし	なし	全職員対象	協働する力	多職種連携
FA2353	タスクシフト・シェアと他職種協働をめぐる現状を整理する ～看護職の業務範囲を前提に～	・看護師の業務について～療養上の世話・診療の補助～ ・医師と看護師の連携（包括的指示を含む） ・看護師・他職種の役割拡大と今後の展望	・看護師の業務範囲を整理し、看護師に求められる役割が変化していることがわかる ・医師と看護師の連携における注意点がわかる ・看護師と他職種の連携における注意点がわかる	友納 理緒 先生 前 公益社団法人 日本看護協会 参与/保健師・看護師・弁護士	約27分	なし	なし	なし	なし	I、II、III、IV、V	—	多職種連携

院内全体研修コース

配信期間 2023/04/01（土）～2024/03/31（日）※2023年1月時点での情報です

コード	テーマ名	講義概要	到達目標	講師	講義時間	テスト	ワークシート	チェック動画	別添	ラダー	4つの力	カテゴリ
CA2301	基礎から学ぶ！医療安全	・医療安全とは ・医療事故発生のメカニズムとプロセス ・医療安全文化を院内に定着させるために私たちができること	・医療安全の目的が理解できる ・事故発生のメカニズムとプロセスを理解し、明日から自身が取り組む改善活動を1つあげることができる	原田 賢治 先生 国立大学法人 東京農工大学 保健管理センター 教授	約30分	あり	あり	なし	なし	全職員対象	－	医療安全
CA2302	医療安全を組み立てる！プロセス指向と標準化	・プロセス指向とは ・プロセスの標準化と改善 ・医療現場での活用ポイント	・プロセス指向と、プロセスの標準化と改善を理解し、日々の業務で活用できる ・医療現場での活用ポイントを理解し、実践できる	梶原 千里 先生 静岡大学 情報学部 行動情報学科 准教授	約30分	あり	あり	なし	なし	全職員対象	－	医療安全
CA2303	チームの力を引き上げる！多職種で取り組む医療安全	・安全文化 ・手術チームの事例から心理的安全性とは何かを学ぶ ・チーム力を上げるコツ	・安全文化について説明できる ・心理的安全性は、安全をめざすチームにとって不可欠であることを理解できる ・チーム力を上げるために、明日から自身が取り組むことを1つあげることができる	松村 由美 先生 京都大学医学部附属病院 医療安全管理部 部長/教授	約30分	あり	あり	なし	なし	全職員対象	協働する力	医療安全、多職種連携
CA2304	患者参加で実現する医療安全	・医療安全における患者・家族参加 ・患者・家族参加の方法 ・患者・家族とのコミュニケーションのポイント	・医療安全における患者・家族参加の意義を理解し、改善活動に取り組むことができる ・患者・家族とのコミュニケーションのポイントを理解し、明日からの改善活動に活用することができる	奥津 啓子 先生 武蔵野赤十字病院 医療安全推進センター 患者相談室長/看護師長	約30分	あり	あり	なし	なし	全職員対象	ケアする力、協働する力	医療安全
CA9999	動画で実践！みんなで取り組むKYT！～KYT事例動画アーカイブ～	－	－	黒川 美知代 先生 武蔵野赤十字病院 看護部 看護師長	－	なし	あり	あり	なし	全職員対象	－	医療安全
CB2301	学び直しの標準予防策（スタンダードプリコーション）	・標準予防策（スタンダードプリコーション）の考え方 ・手指衛生（手洗いと手指消毒） ・個人防護具（PPE） ・確認しよう！その感染対策で大丈夫？	・感染対策の必要性を改めて見直し、日々の業務で適切な感染対策を実施できる ・標準予防策の考え方を理解し、日々の業務で適切な対策を実施できる	藤本 佐希子 先生 JA愛知厚生連 海南病院 感染制御部 感染制御室 感染制御係長/感染管理認定看護師	約30分	あり	あり			全職員対象	ケアする力	感染対策
CB2302	感染経路別予防策をおさらい！～「もしも」に備えるアウトブレイク対策～	・感染対策の基本 ・感染経路別予防策とは ・空気・飛沫・接触感染予防策 ・アウトブレイクとは何か ・アウトブレイク発生時の対応	・感染対策の基本と空気感染・飛沫感染・接触感染について知り、それぞれの感染予防策を実施できる ・アウトブレイクの概要について説明できる ・アウトブレイク発生時の対応について説明できる	島崎 豊 先生 NPO法人 日本・アジア口腔保健支援機構 理事、中部地区中材業務研究会 会長	約30分	あり	あり	なし	なし	全職員対象	ケアする力	感染対策
CB2303	基礎からわかるインフルエンザ対策	・インフルエンザとは －病態、症状、診断 ・感染予防策 ・院内感染を防ぐ対策（新型コロナウイルス感染症まで）	・インフルエンザの特性を理解し、適切な感染予防策が実施できる ・院内感染を防ぐための対策について理解し、実施できる	仲田 勝樹 先生 JA愛知厚生連 江南厚生病院 感染制御部 感染制御室 感染制御課長/感染管理認定看護師	約30分	あり	あり	なし	なし	全職員対象	ケアする力	感染対策
CB2304	基礎からわかるノロウイルス感染症対策	・ノロウイルス感染症とは ・感染予防策 ・院内感染を防ぐ対策	・ノロウイルス感染症の特性を理解し、適切な感染予防策が実施できる ・院内感染を防ぐための対策について理解し、実施できる	桑山 祐樹 先生 愛知県医療療育総合センター中央病院 感染管理認定看護師	約30分	あり	あり	なし	なし	全職員対象	ケアする力	感染対策
CD2301	臨床倫理入門	・倫理一般と臨床の倫理 ①倫理とは ・倫理一般と臨床の倫理 ②倫理的姿勢と臨床倫理の原則 ・意思決定プロセス～共同意思決定、情報共有・合意モデルの意義～	・臨床における倫理的な姿勢と行動の関係を理解することができる ・倫理原則の意味を理解することができる ・臨床において倫理的に行動することができる ・適切な意思決定支援の基礎を理解することができる	会田 薫子 先生 東京大学大学院 人文社会系研究科 死生学・応用倫理センター 上廣死生学・応用倫理講座 特任教授	約30分	なし	あり	なし	なし	全職員対象	意思決定を支える力	－
CD2302	臨床倫理 事例検討法	・患者の意向を尊重する意思決定支援のための事例検討法 ①カンファレンス用ワークシートを用いて ・患者の意向を尊重する意思決定支援のための事例検討法 ②選択肢の益と害を列挙するアセスメント・サポートツールを用いて ・ジレンマに直面した場合の考え方	・患者の意向を尊重し、家族の納得も得ながら意思決定を支援するための方法を理解できる ・本人の人生の物語りの視点から意思決定を支援するために必要なプロセスが理解できる ・意思決定支援のためのコミュニケーションについて考えることができる	会田 薫子 先生 東京大学大学院 人文社会系研究科 死生学・応用倫理センター 上廣死生学・応用倫理講座 特任教授	約30分	なし	あり	なし	なし	全職員対象	意思決定を支える力	－
CD2303	多職種で最善のケアを考える～緩和ケアでの倫理的配慮から考える～	・緩和ケアにおける倫理的課題 ・がん患者と家族が抱える課題に気づく ・多様な社会資源の活用をアレンジする	・緩和ケアにおける倫理的課題がわかる ・がん患者と家族の抱える課題に気づくことができる ・倫理的アプローチを用いた多職種連携・地域連携を理解する	長尾 式子 先生 北里大学 看護学部 臨床看護学 教授	約30分	あり	あり	なし	なし	全職員対象	意思決定を支える力	多職種連携
CH2301	重大な事件・事故発生時に備えた医療体制のあり方	・重大な事件・事故の影響 ・重大な事件・事故への対応 ・重大な事件・事故への備え	・重大な事件・事故発生による医療体制への影響について説明できる ・重大な事件・事故発生に医療職が備えるべきことがわかる ・重大な事件・事故発生時に医療職が対応すべきことがわかる	赤星 昂己 先生 独立行政法人 国立病院機構 厚生労働省DMAT事務局	約30分	あり	あり	なし	なし	全職員対象	協働する力	－
CH2302	現場に根ざしたBCP～震災レベルから多様な災害への一般化～	・BCPとは何か ・これまでの大災害を教訓とした医療現場のBCP事例 ・多様な災害に対応したBCP策定のポイント	・BCPとは何かを理解し、自分の立ち位置において行うべきことを説明できる ・これまでの医療現場での事例を学び、より一般化したBCPを策定するためのポイントがわかる	植木 穰 先生 東京医科歯科大学病院 病院長補佐/救命救急センター 助救/災害テロ対策室 室長	約30分	あり	あり	なし	なし	全職員対象	協働する力	－

コード	テーマ名	講義概要	到達目標	講師	講義時間	テスト	ワークシート	チェック動画	別添	ラダー	4つの力	カテゴリ
CH2351	病院における災害シミュレーション	・有用な災害対策本部の設置：事前対策 ・地域の被災状況の把握：発災直後・初動 ・トリアージエリアの機能：災害医療の本番 ・とくに準備が必要な災害：水害対応、特殊災害CBRNE	・災害時に病院が機能する院内体制の整備と、マニュアルづくりに取り組むことができる ・発災直後に被災状況を把握するための適切な行動がとれる ・病院での各トリアージエリアの役割が理解できる	庄古 知久 先生 東京女子医科大学附属足立医療センター 救命救急センター長/ 救急医療科 教授	約31分	あり	あり	なし	なし	全職員対象	協働する力	ー
CH2352	災害医療対策における平時の備え	・大規模災害における災害保健医療体制の整備 ・災害対策マニュアルの策定と資機材の準備 ・災害医療にかかわる教育・研修の実施	・災害保健医療体制の概要が理解できる ・自施設の規模や役割に応じた災害対策マニュアルの策定方法が理解でき、資機材準備の必要性がわかる ・災害医療にかかわる教育・研修の実施方法や必要性が理解できる	阿部 喜子 先生 東北大学病院 災害対応マネジメントセンター	約24分	あり	あり	なし	なし	全職員対象	協働する力	ー
CJ2301	ヤングケアラーの事例から考える重層的支援のあり方	・ヤングケアラー問題の実態と医療職の認識 ・ヤングケアラーに必要な重層的支援とは ・重層的支援の実践事例 ・ヤングケアラー問題解決における課題	・医療職として知るべきヤングケアラー問題の実態について説明できる ・ヤングケアラーに必要な重層的支援がわかる ・ヤングケアラー問題解決のために取り組むべき方向性がわかる	中島 由美子 先生 訪問看護ステーション愛美国 所長	約30分	あり	あり	なし	なし	全職員対象	協働する力	地域包括ケア
CJ2302	AYA世代における思春期のがん患者へのACP実践から学ぶ	・アドバンス・ケア・プランニング（ACP）とは ①事前指示 ・アドバンス・ケア・プランニング（ACP）とは ②基礎知識 ・思春期のがん患者におけるACPの実践	・医療従事者としてかわるべきAYA世代のACPについて新たな視点をもてる ・AYA世代における思春期のがん患者のACP実践の特徴がわかる ・自施設におけるAYA世代のがん患者へのACP実践に活かす考え方をもちことができる	多田 龍 竜平 先生 大阪市立総合医療センター 緩和医療科部長/緩和ケアセンター長	約30分	あり	あり	なし	なし	全職員対象	協働する力	地域包括ケア
CJ2303	医療ガスの安全管理と事故防止策	・医療ガス設備の基礎知識 ・医療ガスにおける関連法令 ・医療ガスの性質 ・医療ガスの取り扱い方法 ・事故事例から考える原因と対策	・医療ガス設備の基礎知識と関連法令がわかる ・医療ガスの性質を知り、その取り扱い方法がわかる ・医療ガス事故を防止するための対策がわかる	野口 裕幸 先生 CE野口企画 代表/臨床工学技士、北里大学保健衛生専門学校 臨床工学専攻科	約30分	あり	あり	なし	なし	全職員対象	ケアする力	医療安全
CJ2304	医療機関で備えておきたいサイバーセキュリティ対策	・医療機関におけるサイバー攻撃の実態とその影響 ・医療職に必要なサイバーセキュリティ対策 ・サイバーセキュリティにおける医療職の心構え	・医療機関におけるサイバー攻撃の実態を知り、サイバーセキュリティの重要性がわかる ・医療職に必要なサイバーセキュリティ対策がわかる ・医療職としてサイバーセキュリティに対する心構えができる	高取 幸江 先生 聖霊病院 医事業務課 事務次長	約30分	あり	あり	なし	なし	全職員対象	ー	ー
CJ2305	高齢者虐待における病院の役割	・高齢者虐待の実態と虐待の種類・類型 ・高齢者虐待に気づいたら ・高齢者虐待の早期発見のポイント ・高齢者虐待における医療機関の役割	・高齢者虐待の種類と類型について理解できる ・高齢者虐待を発見したとき、虐待を疑ったときの対応がわかる ・高齢者虐待の早期発見、早期対応のポイントがわかる ・高齢者虐待における医療機関の役割がわかる	香川 卓見 先生 三鷹市大沢地域包括支援センター センター長/主任介護支援専門員	約30分	あり	あり	なし	なし	全職員対象	ケアする力	医療安全
CJ2306	障がい者虐待における病院の役割	・障がい者虐待の実態と虐待の種類・類型 ・障がい者虐待に気づいたら ・障がい者虐待の早期発見のポイント ・障がい者虐待における医療機関の役割	・障がい者虐待の種類と類型について説明できる ・障がい者虐待を発見したとき、虐待を疑ったときの対応がわかる ・障がい者虐待の早期発見、早期対応のポイントがわかる ・障がい者虐待における医療機関の役割がわかる	香川 卓見 先生 三鷹市大沢地域包括支援センター センター長/主任介護支援専門員	約30分	あり	あり	なし	なし	全職員対象	ケアする力	医療安全
CJ2351	医療従事者が知っておきたいLGBTへの理解	・セクシュアリティの構成要素 ・LGBTへの理解 ・LGBTが受けやすい医療とは	・セクシュアリティの構成要素が理解できる ・LGBTの概念が理解できる ・LGBTが受けやすい医療について考えられる	針間 克己 先生 はりまメンタルクリニック 院長	約30分	あり	あり	なし	なし	全職員対象	ー	ー
CJ2352	児童虐待における病院の役割	・子ども虐待に気づいていますか？ ・虐待を察う ・子ども虐待への対応～院内・他機関との連携～ ・子ども虐待の精神・神経学的予後	・子どもの虐待に気づき、見逃さないためのポイントが説明できる ・虐待の疑いがある子どもに対し、病院全体でどのように対応すればよいかわかる ・虐待の疑いがある子どもに対する院内・他機関との連携のポイントがわかる	岡田 邦之 先生 おかだこどもの森クリニック 院長	約31分	あり	あり	なし	なし	全職員対象	ニーズをとらえる力、協働する力	ー
CJ2353	医療職が知っておくべき障害者福祉関連法	・障害者総合支援法の概要 ・障害者総合支援法によるサービス ・その他の障害者福祉：難病医療法・医療的ケア児支援法・障害者差別解消法	・障害者総合支援法の概要がわかる ・障害者総合支援法によるサービスの内容がわかる ・医療にかかわる障害者福祉の法律がわかる	遠山 真世 先生 高知県立大学 社会福祉学部 准教授	約27分	あり	あり	なし	なし	全職員対象	協働する力	ー
CJ2354	事例から学ぶ医療現場におけるハラスメント対策	・ハラスメントの実態（2021年3月調査報告から） ・これってハラスメント？（パワーハラスメント） ・これってハラスメント？（セクシュアルハラスメント） ・これってハラスメント？（マタニティハラスメント） ・ハラスメントにかかわる法的紛争 ・ハラスメントの予防と対応	・ハラスメントにあたるかどうかの考え方について説明できる ・ハラスメントを受けたときにとるべき対応について説明できる	伊東 亜矢子 先生 三宅坂総合法律事務所 弁護士	約29分	あり	あり	なし	なし	全職員対象	協働する力	ー
CJ2355	放射線従事者等に対する診療用放射線における安全管理～患者に納得いただくための説明と同意の必要性～	・診療用放射線の基本的な知識と安全管理 ・診療用放射線安全利用のための指針と研修の実施 ・医療被ばくにおける正当化と最適化の考え方 ・放射線診療を受ける患者への適切な医師の説明/補助説明のあり方	・診療用放射線の基本的な説明ができる ・医療被ばくに対する安全管理について説明ができる ・放射線診療における正当化と最適化への意識が高まる ・放射線診療を受ける患者への医師の説明/補助説明で伝えるべき内容がわかる	関 良充 先生 公益社団法人地域医療振興協会 東京北医療センター 医療安全管理部 医療安全管理者/診療放射線技師	約25分	あり	あり	なし	なし	全職員対象	ケアする力	医療安全

コード	テーマ名	講義概要	到達目標	講師	講義時間	テスト	ワークシート	チェック動画	別添	ラダー	4つの力	カテゴリ
CK2301	医療従事者が知っておくべき個人情報の適切な取り扱い方	・個人情報保護法の基礎知識 ・個人情報保護の留意点 ・個人情報の漏えいに対応	・個人情報保護法の基本が理解できる ・個人情報の取り扱い方や留意点がわかる	須貝 和則 先生 国立国際医療研究センター 医事管理課 課長	約30分	あり	あり	なし	なし	全職員対象	協働する力	ー
CK2302	医療職のためのメンタルヘルス対策	・医療職特有の独りで抱え込みがちなストレスとは ・メンタルヘルスケアの基本 ・実践！ ストレス対処法 ・働きやすい職場環境を築くために	・医療職特有のストレス要因がわかる ・メンタルヘルスケアの基礎知識を習得する ・ストレス対処法を実践し、その効果がわかる ・働きやすい職場環境を築くために自分ができることを説明できる	久持 修 先生 やまき心理臨床オフィス 代表/公認心理師/臨床心理士	約30分	あり	あり	なし	なし	全職員対象	ケアする力	ー
CK2303	医療職として働くときのチームワークのあり方	・医療現場におけるチームワークの重要性 ・チームワークで求められることは ・組織（職場）でうまくやっていくために	・医療現場におけるチームワークの重要性がわかる ・チームメンバーである自分の特徴や役割がわかり、多職種の特徴や役割が想像できる ・組織（職場）でうまくやっていくための仲間との連携方法を理解する	平井 亮 先生 京都市立病院 看護部管理室 教育担当/副看護部長	約30分	なし	あり	なし	なし	全職員対象	協働する力	キャリア開発、多職種連携
CK2304	医療職が育む社会人基礎力の必要性	・社会人基礎力とは ・医療職に社会人基礎力が必要なわけ ・社会人基礎力の伸ばし方 ・社会人基礎力を身につけてめざすこと	・社会人基礎力がわかる ・医療職における社会人基礎力の必要性を理解できる ・社会人基礎力をもとに、意識し考え、行動できる	高橋 恵 先生 聖マリアンナ医科大学 ナースサポートセンター 統括看護部長/センター長	約30分	あり	あり	なし	なし	全職員対象	ー	キャリア開発
CK2351	新医療人のためのビジネスマナー	・信頼される医療人になるための心構え ・医療人としてのビジネスマナー ・医療人が身につけたい接遇マナーのポイント① ・医療人が身につけたい接遇マナーのポイント② ・新医療人が身につけたいビジネスの基本	・信頼される医療人になるための意識づけができる ・医療人として基本的なビジネスマナーを身につけることができる ・医療人として適切な言葉遣いができる ・新医療人が身につけたいビジネスの基本を理解し、実行する	村尾 孝子 先生 株式会社スマイル・ガーデン 代表取締役	約29分	あり	あり	なし	なし	全職員対象	ー	ー
CK2352	医療従事者に必要なキャリアのつくり方	・チーム医療におけるキャリア形成の考え方 ・キャリアの発展とワーク・ライフ・バランスを考えた働き方 ・医療従事者のためのキャリア形成支援	・自己のキャリアの発展と働き方について考えることができる ・キャリア形成に必要な支援のあり方がわかる	市川 幾恵 先生 昭和大学 特任教授/看護キャリア開発・研究センター センター長	約29分	あり	あり	なし	なし	全職員対象	ー	キャリア開発
CK2353	SNS時代に知っておきたい医療職の情報伝達心得	・医療者が情報発信するときの心得 ー外科医けいゆうの経験から ・情報伝達のコツ ー患者とのコミュニケーション ー医療者同士のコミュニケーション	・医療者が情報発信するときの心構えがわかる ・SNSによる情報発信事例をとおして、情報の取り扱い方への意識が上がる ・患者に対して、または医療者同士で医療情報を理解しやすく伝える方法とその注意点がわかる	山本 健人 先生 田附興風会医学研究所 北野病院 消化器外科	約29分	あり	あり	なし	なし	全職員対象	協働する力	ー